

平成30年第4回臨時会

江東区教育委員会会議録

平成30年8月24日（金）

江東区教育委員会

平成30年第4回江東区教育委員会臨時会会議録

- 1 開会年月日 平成30年8月24日（金）午前10時00分
- 2 閉会年月日 平成30年8月24日（金）午前11時00分
- 3 開会場所 教科書センター（江東区教育センター内）
- 4 出席委員 岩佐哲男（教育長）、眞貝裕利子（教育長職務代理者）、松江恒治、橋本俊雄、進藤孝
- 5 出席職員 武越教育委員会事務局次長、
寺内教育委員会事務局参事 教育センター所長事務取扱、
岩井庶務課長、谷川学校施設課長（整備担当課長兼務）、油井学務課長、
伊藤指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、
堀越学校支援課長、池田放課後支援課長、
上原江東図書館長（深川図書館長兼務）
佐久間主任指導主事

6 協議事項

- (1) 平成31年度小学校教科用図書採択について（特別の教科道徳を除く）
- (2) 平成31年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択について

7 審議概要

岩佐教育長 おはようございます。ただいまより平成30年第4回江東区教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の会議録署名委員をご指名いたします。松江委員、橋本委員にお願いいたします。

それでは、早速審議に入ります。初めに、協議事項1、平成31年度小学校教科用図書採択について（特別の教科道徳を除く）を議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書の採択に係る公正な選定、採択手続に期するため、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については、採択が終了した後に情報公開に伏すことといたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

岩佐教育長 それでは、本案について、事務局から説明を願います。
指導室長。

伊藤指導室長 今回の教科書採択では、昨年度採択しました特別の教科道徳以外の教

科書、平成31年度の1年間、小学校及び義務教育学校前期課程で使用する教科書について採択していただくこととなります。

本案につきましては、さきに開催されました4月の教育委員会におきまして、平成31年度に使用する小学校用教科用図書は、学習指導要領改訂により、平成32年度から新学習指導要領の教科用図書を使用するため、採択された教科書の使用期間は4年間ではなく、平成31年度のみ1年間だけとなること、また、平成29年度の教科書用図書検定において新たな図書の検定申請がなかったため、既に調査研究を行っている平成25年度検定合格図書等の中から再度採択を行うこと、以上のことを踏まえ、平成31年度教科書採択については調査部会及び採択資料作成委員会を設置せず、平成26年度「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」をもとに本委員会において採択することを委員の皆様からご了承いただいているところです。

それでは、ご説明させていただきます。

初めに、資料1「小学校用教科書教科別発行者一覧」をごらんください。ここに示されている教科書は平成30年度現在、江東区立小学校及び義務教育学校前期課程で使用している特別の教科道徳以外の教科書となります。平成26年度に本区に見本本が送られてきた全ての教科書についての詳細な研究と選定委員会での審議の結果をまとめて教育委員会に提出されてものが、資料2「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」でございます。

なお、本区に見本本が送付されてきていない信州教育出版については、調査研究を行っておりませんので記載しておりません。

これより、主任指導主事が、資料2「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」についてご説明いたしますので、よろしく願いいたします。

岩佐教育長 それでは、主任指導主事から「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」について説明をお願いします。
主任指導主事。

佐久間主任指導主事 資料2「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」をごらんください。
調査研究基準ごとに審議報告についてご説明いたします。
初めに、国語について、発行者は5社です。
内容の選択について。1点目、東京書籍は、低学年から図書館利用や読書紹介、関連図書等が盛り込まれている。
2点目、学校図書は、「言葉のいずみ」等、言葉の力を育てるページが充実している。
3点目、三省堂は、教材文の欄外に語句を★で示し、辞典等の活用を

促している。

4点目、教育出版は、俳句や短歌を取り上げ、和歌への関心を高めている。

5点目、光村図書は、上段に読みの課題を、下段に言語活動の手順が示されている。

構成・分量については、1点目、東京書籍は、高学年で上下巻が合冊となり、段階的、系統的に設定されている。

2点目、学校図書は、巻末に資料編として学習用語のページがあり、必要に応じて活用できる。

3点目、三省堂は、分冊、学びを広げる資料として活用し、児童の主体的な学習を促すことができる。

4点目、教育出版は、書くことで文書や作品の具体例が示されている。

5点目、光村図書は、季節ごとに季節の言葉が入り、伝統的な言語文化の学習ができる。

そのほかに、表記・表現として5点、使用上の便宜として5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として5点示されております。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、使いやすい教科書について、2点目、国語スタンダード指導資料と教科書との関連について、3点目、俳句学習の進め方についてなどとなっております。

続いて、書写について、発行者は6社となります。

内容の選択については、1点目、東京書籍は、キャラクターがアドバイスをする形で気づきや交流学习が身につく、主体的に学習を進めることができる。

2点目、学校図書は、教材や指導事項を2年ごとのまとまりにしている。

3点目、三省堂は、各教材の最後に確かめ合おうという自己評価する段階を設けている。

4点目、教育出版は、めあて→考えよう→大切→生かそう（練習）→ふり返ろうという手順を確認することで主体的に学習する習慣を養っている。

5点目、光村図書は、課題発見→理解・確認（書くこと）→応用（硬筆）→自己評価の流れで主体的に学習することができる。

6点目、日本文教出版は、学年に応じた「書く」単位とつながる内容がある。

構成・分量については、1点目、東京書籍は、各学年とも「練習」で基礎基本を習得し、「硬筆に広げよう」で習得した技能を生活に活用する学習の流れになっている。

2点目、学校図書は、国語の教科書で扱う教材を手本とし、関連を図っている。

3点目、三省堂は、4年の「みんな毛筆の仲間」、5年の「全体の整い」が工夫した内容となっている。

4点目、教育出版は、各学年の硬筆教材が文学作品や古典等、国語との関連を図っている。

5点目、光村図書は、シールを活用し、文字のバランスを体感できる。

6点目、日本文教出版は、既習事項や新出漢字が整理されていて、確認できるようになっている。

そのほかに表記・表現として6点、使用上の便宜として7点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として1点示されており。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、字を書くことの基本について、2点目、教員にとっての使いやすさについて、3点目、書写で学んだことの日常化についてなどとなっています。

続いて、社会について、発行者は4社となります。

内容の選択について。1点目、各社とも問題解決的な学習を意識し、主体的な学習が展開できる内容である。

2点目、東京書籍は、問題解決的な学習課程、「つかむ」、「調べる」、「まとめる・いかす」が具体的に明示され、児童や教員にとって進めやすい内容である。

3点目、教育出版は、「学習のてびき」の欄が設けられており、「深める」では、これからの暮らしや社会について考える内容である。

4点目、光村図書は、単元の初めの写真資料が豊富で、「調べる・話し合う」では、見学する際の視点が示されている。

5点目、日本文教出版は、「ふりかえってみよう」で学習したことを多様な方法で振り返る順序が示されている。

構成・分量については、1点目、各社ともに東日本大震災を取り上げている。

2点目、東京書籍は、学習の内容に沿った写真、図表、絵が充実している。その資料が大きく、見やすく、活用しながら指導することができる。

3点目、教育出版は、巻末の資料ページが充実しており、学習のまとめや調べ学習に活用できる。

4点目、光村図書は、巻末にこれまでに学習した「たいせつ」コーナーがあり、調べ方、まとめ方等、学習のポイントが振り返られるようになっている。

5点目、日本文教出版では、「大きくジャンプ」で児童の興味や関心を広げる内容が示されており、発展的な学習ができる構成となっている。

る。

そのほか、表記・表現は4点、使用上の便宜については1点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として1点示されており。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、東日本大震災の取扱について、2点目、区副読本の活用について、3、問題解決的な学習の進め方についてなどとなっております。

続いて、地図について発行者は2社となります。

内容の選択について。

1点目、東京書籍は、「地図帳の使い方」に地図記号や包囲など、地図の決まりについてわかるように書かれている。

2点目、東京書籍は、資料ページが色分けされるなど、見る工夫がなされており、主体的に調べ、学習に活用できる。

3点目、帝国書院は、巻頭の「日本の都道府県」のページに47都道府県の特色が絵でまとめており、都道府県の特徴を捉えて覚えることができる。また、左ページは日本地図で、右ページは都道府県名が番号になっている地図なので、日常的に都道府県名を覚えることに活用できる。

4点目、帝国書院は、児童が主体的に学習を進められるように地図の最初に、「地図のなりたち やくそくごと」、「地図帳の使い方」について丁寧に記載してある。

構成・分量につきましては、1点目、東京書籍は、地図の中に特色をあらわす絵図等の情報が盛り込まれている。

2点目、東京書籍は、京都や奈良の地図を取り上げ、歴史の学習に活用できる。

3点目、帝国書院は、各学年の学習内容に合わせて地図の部分拡大し活用できる。

4点目、帝国書院は、歴史に関する地名や事項が記載されており、3年間活用できる。

5点目、東京書籍と、帝国書院は、日本の自然災害や開港等についての地図があり、防災マップづくりへの発展が考えられる。

そのほか、表記・表現として3点、使用上の便宜として5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として2点示されています。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、こどもにとっての地図帳の使いやすさについて、地図帳の活用方法についてなどとなっております。

続いて、算数について、発行者は6社となります。

内容の選択については、1点目、東京書籍は、巻末の「算数自習コーナー」は補充問題と発展問題があり、個々の習熟度に応じて解くことが

できるようになっている。

2点目、大日本図書は、前学年までの復習問題が巻末にあり、学年初めに習熟度がチェックできるようになっている。

3点目、学校図書は、単元末の「練習」、「力だめし」は基礎基本と活用力を評価できる、また、ヒントをもとに主体的に学習できるようになっている。

4点目、教育出版は、巻末の問題が「基礎基本」と「ステップアップ」に分かれているため、個々の進度に応じて活用できる。

5点目、啓林館は、単元末、巻末の復習問題のページには関連するページが示されているため、主体的な学習に結びついている。

6点目、日本文教出版は、単元前に「次の学習のために」が記載されていて、該当する単元や学年も明記され振り返ることができる。

構成・分量につきましては、1点目、東京書籍は、単元の導入では、発表や練り上げの過程が詳しく扱われており、問題解決型の学習を進めることができる。

2点目、大日本図書は、「ふりかえろう」では、観点を具体的に示して、説明や感想を書くことを促し、学習の振り返りを重視している。

3点目、学校図書は、高学年は年間を1冊にしたため、既習事項の振り返りや単元の入れかえが可能である。

4点目、教育出版は、「どんな学習がはじまるのかな」という中で、児童にじっくり考えさせようとしており、問題解決的な学習を進めることができる。

5点目、啓林館は、「みんなで話し合おう」という学習活動が設定されており、話し合いの視点も明記されている。言語能力の育成が図られている。

6点目、日本文教出版は、「学び方ガイド」の中で、類推、帰納、演繹等の考え方や、問題解決型学習の進め方を随時確認できるようになっている。

そのほか、表記・表現は6点、使用上の便宜については6点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として6点示されております。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、基礎基本の定着と教員にとっての使いやすさについて。

2点目、少人数指導等、指導方法の工夫と改善について。

3点目、算数スタンダード指導資料と教科書との関連についてなどとなっています。

続いて、理科について、発行者は6社となります。

内容の選択について、1点目、東京書籍は、問題解決の過程を緑色のラインで示し学習の流れがわかる。

2点目、大日本図書は、発達段階に応じて児童が積極的に取り組める

よう、3年ではシールやシートを使って学習できるようになっている。

3点目、学校図書は、各単元で実験の準備の記述に項目ごとにチェック欄があり、児童が主体的に準備できる。また、観察カードの例や、ノートの記事例が載っており、どのようにまとめていけばよいのか見通しが持てる。

4点目、教育出版は、「わかった」コーナーで基礎基本の知識をわかりやすい言葉でまとめている。また、「確かめ」コーナー6で習得の度合いを確認できるようになっている。

5点目、啓林館は、単元の終末に「学習をまとめよう」と単元ごとに身につける基礎・基本が文章や図で詳しくまとめられている。

構成・分量につきましては、1点目、東京書籍は、五、六年で実生活と学習内容につながりを意識できるよう、「理科のひろば」というコーナーを設けて説明を加えている。

2点目、大日本図書は、発展教材「ジャンプ」が随所にあり、科学への興味、関心を高める内容になっている。日常生活でできる内容が示されている。

3点目、学校図書は、目次で関連する単元を線で結んであり、年間を通しての学習が意識できるようになっている。

4点目、教育出版は、単元のまとめでは「学んだことを使おう」、「チャレンジ」を配置し、習得した知識や技能を使って、ものづくりや説明などができ、発展的な学習を促している。

5点目、啓林館は、全学年で「理科の広場」というコーナーを設定し、単元に関する情報を掲載している。

そのほか、表記・表現として5点、使用上の便宜として5点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として1点示されております。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、理科への興味や関心を高める方法について、授業の工夫についてなどとなっております。

続いて、生活について、発行者は8社となります。

内容の選択について。1点目、東京書籍は、こどもの活動（生活）範囲の広がりにより即した内容配列である。

2点目、大日本図書は、上巻は季節のまとまりごとに配列され、テーマは「なかよし」、下巻は活動のまとまりごとに配列され、テーマは「はっけん」となっている。

3点目、学校図書は、上下巻とも活動ごとに大単元化されている。上巻から下巻へと学習内容が広がり、深まる配列になっている。

4点目、教育出版は、目次に学習予定が示されており、同時に進行する学習がわかる。

5点目、光村図書は、季節単元が春夏秋冬のまとまりで構成されている。

6点目、啓林館は、上巻は季節のまとめりごとに大単元化されている。

7点目、日本文教出版は、上下巻とも活動のまとめりごとに大単元化されている。

構成・分量につきまして。1点目、東京書籍は、上巻末に「ポケットずかん」があり、草花や生物への興味や関心を高めている。下巻末は、「べんりてちょう」があり、生活や学習を進めるときに必要なスキルが載っている。

2点目、大日本図書は、巻中や巻末に「がくしゅうどうぐぼこ」が掲載され、こどもの興味や関心を高められる図鑑、遊び方、安全、道具の使い方、調べ方、話し方や聞き方等、豆知識や学習スケールに関する内容がある。

3点目、学校図書は、巻末資料に「学び方ずかん」がある。

4点目、教育出版は、巻末の「ぐんぐんポケット」で、マナーやコミュニケーションスキル、本の紹介など等を掲載しており、活動と関連している。

5点目、光村図書は、活動のヒントがいきなり書いてあるのではなく、こどもが考えられるような内容になっている。

6点目、啓林館は、別冊の付録、「せいかつたんけんブック」があり、遊び、自然、探検、伝え合い等さまざまな場面で活用できる。

7点目、日本文教出版は、巻末には「なんでもずかん」があり、こどもの活動を広げる手立てやスキルが紹介されている。

そのほかに、表記・表現として7点、使用上の便宜として7点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として6点示されており。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、こどもや教員にとって使いやすい教科書について。

2点目、自然や人とのかわりについてなどとなっております。

続いて、音楽についてです。発行者は2社となります。

内容の選択については、1点目、教育出版は一流アーティストからのメッセージ（4年以上）が巻頭に配置され、音楽をより身近に感じさせ、興味を持たせている。

2点目、教育出版は、「音楽のもと」のまとめが、各学年の学習したことを振り返ることができ、定着が確認できる。

3点目、教育芸術社は、楽典などの内容が巻末にまとめてあるので、自分で調べることができる。

4点目、教育芸術社は、そのまま書き込めるワークシートや鑑賞の感想や音符などを書き込めるワークシートがある。

構成・分量につきましては、1点目、教育出版は3年生以上の巻末に折り込みページがあり、各学年の学習したことを振り返ることができ、

定着が確認できる。

2点目、教育出版は、全校合唱を発達段階に応じて発展的に扱えるようにしている。また、手話を取り入れた活動は、人権教育の上、大切な内容であり、どの学年でもできる身体表現である。

3点目、教育芸術社は、目次が題材ごとにわかりやすく並んでおり、また、歌唱共通教材などが題材の中に組み込まれている。

4点目、教育芸術社は、「うたでさんぽ（1年）の絵から歌を探して表現する方法は初めての学習導入には最適である。また、巻末に歌詞が載っている。

そのほか、表記・表現として3点、使用上の便宜として2点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として2点掲載されております。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、身体表現の指導のポイントについて。

2点目、教員にとっての使いやすさについて。

3点目、紙面構成の工夫についてなどとなっております。

続いて、図画工作についてです。発行者は2社となります。

内容の選択について。1点目、開隆堂出版は、のこぎりを取り扱った題材が三、四年上巻に入っている。三、四年下巻はより高度な題材設定につながっている。

2点目、開隆堂出版は、どの題材も児童が楽しむという視点でページが構成されている。自由な発想を引き出そうとしている。

3点目、日本文教出版は、作品例に児童の言葉をもとにしたコメントを掲載している。

4点目、日本文教出版は、三、四年下巻に小刀を扱う題材が掲載されている。

構成・分量につきましては、1点目、開隆堂出版は「ちいさなびじゅつかん」で児童の年齢にとらわれず、ジャンルも多岐にわたる作品や取り組みが紹介されている。

2点目、開隆堂出版は、「ゆめをかたちに」で、実際に活躍しているアーティストの紹介や、その人物の作品や言葉が示されている。

3点目、日本文教出版は、巻頭のオリエンテーションで、今後の児童の活動を想起できるよう工夫している。

4点目、日本文教出版は、「オリエンテーション」、「教科書美術館」、「図画工作の広がり」、「ぞうけいのもり」の特設資料は、学年が上がるにつれ分量が増え、内容が高度になっている。

そのほか、表記・表現として4点、使用上の便宜として4点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として4点掲載されております。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、こどもや

教員にとって使いやすい教科書について。

2点目、こどもへの関心意欲のめたせ方について。

3点目、作品紹介についてなどとなっております。

続いて、家庭について、発行者は2社です。

内容の選択について。

1点目、東京書籍は全ての題材を3ステップで構成し、問題解決的な課程で学習を進めている。

2点目、東京書籍は、消費、環境の内容が充実し、災害に備える内容が明記されており、学習したことと関連がわかるように示されている。

3点目、開隆堂は、「できたかな」、「ふり返ろう、生かそう」のチェック項目が小題材ごとに設けられており、段階を踏んで学習することができる。

4点目、開隆堂は、防災マークを記し、災害に備える内容が明記されており、学習したことがどのように生かされるのかがわかるように示されている。

構成・分量につきましては、1点目、東京書籍は、活動例や資料が増えたことにより、全体の分量が16ページ増している。

2点目、東京書籍は、「自由研究」を設定し、それまでの学習を生かした例が具体的に示されており、家庭での実践を促す構成になっている。

3点目、開隆堂は、作品例が多く、製作段階に沿って細かく図示されているので、作品づくりをする際に参考例として使うことができる。

4点目、開隆堂は、他教科との既習事項が関連づけされており、横断的、系統的に扱える。

そのほか、表記・表現として4点、使用上の便宜として2点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として2点示されておりあります。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、衣食住の扱いと実践について、2点目、教員にとっての扱いやすさについてなどとなっております。

続いて、保健について、発行者は5社となります。

内容の選択につきましては、1点目、東京書籍は、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、「活用して深めよう」という学習の仕方が活動ごとに表記されており、児童が主体的に学習に取り組める工夫がされている。

2点目、大日本図書は、学習課題提示の次に「話し合ってみよう」、「やってみよう」など、児童が主体的に学習に取り組める工夫がされている。

3点目、文教社は、「こんなときあなたなら」、「自分のめあて」、「これからの自分へ」など、学習を通して自分へ戻す記述をさせる箇所

がある。

4点目、光文書院は、「学んだことをもとに見つけよう、当てはめよう」などの欄があり、その時間に学んだ知識を活用する学習が展開できる。

5点目、学研教育みらいは、発展的な内容も書かれており、児童の興味・関心や学習の高まりが期待できる。

構成・分量につきましては、1点目、東京書籍は、「つなげよう」欄を通して、他学年、他教科等との関連が図られる。

2点目、大日本図書は、「ミニちしき」コーナーや「もっと知りたい」を活用することで、発展的な学習が行えるようにしている。また、「はってん」マークとともに資料が掲載されている。

3点目、文教社は、「これからの自分へ」、「考えてみよう」など、学んだことを活用して学習を深められるようになっている。

4点目、光文書院は、「発展」として資料が豊富に掲載されており、児童の興味関心に応じた授業が展開できる。

5点目、学研教育みらいは、「やってみよう」という形で、具体的な生活の場に合わせて、発展的な課題に取り組めるようになっている。

6点目、性に関する表記では、どの教科書も女性が先述されている例が多い。

そのほか、表記・表現につきまして6点、使用上の便宜につきまして4点、各学校の特色ある教育課程の編成に柔軟に対応できる配慮として4点掲載されております。

なお、選定委員会で話題となった主なポイントは、1点目、安全指導、交通安全について。

2点目、薬物乱用の害防止について。

3点目、今日的健康課題についてなどとなっております。

長くなりましたが、結果報告については以上です。

岩佐教育長 　　ただいま「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」についてと、それから、選定委員会の話題になったところについて説明がありました。何かございますでしょうか。

それでは、続いて、平成26年度の教育委員会で採択した教科書、そして、その採択理由について、あわせて事務局から説明をしてください。

指導室長。

伊藤指導室長 　平成26年度の教育委員会で採択しました教科書と、その採択理由について説明させていただきます。

初めに、国語です。こどもや教員にとっての使いやすさと基礎基本の確実な定着が図れること、国語スタンダード指導資料との関連が図れる

こと、俳句教育の充実をはじめ、本区のこどもにふさわしい教科書であること、以上3点から、光村図書出版を採択しております。

次に書写です。文字を書く際の基礎・基本を定着させていく内容が充実していること、主体的に学習に取り組む方法について示されていること、以上2点の理由により光村図書出版を採択しております。

次に社会です。問題解決的な学習が進めやすいこと、写真や資料などの教科書の構成について工夫があること。以上2つの理由により、東京書籍を採択しております。

次に地図です。47都道府県の名称と位置についての指導や、こどもにとって活用がしやすいこと、国土と領土がわかりやすい内容となっていること、江東区の学習に役立つなど構成が工夫されていること、以上3つの理由により、帝国書院を採択しております。

次に算数です。基礎・基本の定着に向けた工夫があること、算数スタンダード指導資料との関連があること、問題解決のための具体的な手立てや記述が丁寧であること、以上の3点の理由で東京書籍を採択しております。

次に理科です。理科に関する興味・関心を抱かせ、科学的な思考力を育てる工夫があること、問題解決的な学習が充実していること、以上2つの理由により、大日本図書を採択しております。

次に生活です。人や自然とのかかわりに関心を持つ活動が充実していること、気づきを促す資料が充実していること、以上2つの理由により東京書籍を採択しております。

次に音楽です。歌詞や身体表現のイメージを膨らませる工夫があること、楽器の扱いの写真や表記がより工夫されていること、教科書の使いやすさや内容の構成がより工夫されていること、以上3つの理由により、教育出版を採択しております。

次に図画工作です。こどもへの関心や意欲を持たせやすいこと、作品や制作過程を紹介する写真が掲載されていること、学習への見通しが持ちやすいこと、以上3つの理由により、開隆堂出版を採択しております。

次に家庭です。衣食住に関して具体的な取り組みが示されわかりやすいこと、こどもや教員にとって使いやすい内容であること、以上2つの理由により、東京書籍を採択しております。

次に保健です。安全指導、交通安全についての内容が充実していること、飲酒、喫煙、薬物乱用の防止、がんに関する学習などに関する記述が充実していること、性差の記述が均等に取り扱われていること、以上3点の理由から、学研教育みらいを採択しております。

説明は以上でございます。

岩佐教育長 現在使用している教科書の採択理由について説明がありました。各委

員から何か質問があれば、よろしくお願ひします。

眞貝委員。

眞 貝 委 員 現在、小学校で使用している教科書について、先生方より指導しにくいなどの声は事務局にございますでしょうか。

岩 佐 教 育 長 指導室長。

伊 藤 指 導 室 長 そういったお声を聞くことはございません。

岩 佐 教 育 長 そのほか、いかがですか。よろしいでしょうか。

これまで、事務局から「江東区立学校教科用図書 選定委員会 結果報告書」等について説明がありましたが、冒頭で事務局の説明がありましたとおり、今回採択する教科書につきましては、1点目、平成31年度のみ1年間だけの使用になること、それから2点目、平成29年度の教科用図書検定において新たな図書の検定申請がなかったこと、それから、今ご質問がありましたけれども、現在使用している教科書について特段の問題点が見られないこと、以上3つの理由から、現在使用している教科書を採択したいと存じますが、ご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩 佐 教 育 長 ご異議ございませんので、平成31年度に小学校及び義務教育学校前期課程で使用する特別の教科道徳以外の教科書は、国語が光村図書出版、書写が光村図書出版、社会が東京書籍、地図が帝国書院、算数が東京書籍、理科が大日本図書、生活が東京書籍、音楽が教育出版、図画工作が開隆堂出版、家庭が東京書籍、保健が学研教育みらいを採択することといたします。

それでは、続いて協議事項2、平成31年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についてを議題といたします。本案について、事務局から説明をもらいます。

指導室長。

伊 藤 指 導 室 長 それでは、平成31年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についてご審議をお願いいたします。初めに、資料についてご説明いたします。

江東区立小中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、資料3の「江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」に基づき、障害種別や程度、発達段階等を考慮して、子どもたちに最もふさわしい教科書という視点で教科書の調査を行ってまいりました。

調査部会では、各特別支援学級設置校からの調査結果に基づき、内容

だけでなく、文字の大きさ、表現やイラストの扱い、活用法、系統性などについて精査、検討を行いました。その結果を一覧表にまとめたものが資料4「平成31年度 江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」及び資料5「平成31年度 江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」でございます。

資料4、資料5の記載についてでございますが、区分のところに「検」と記載してありますのは、文部科学省の検定を経た教科用図書のことでございます。文部科学省の検定を経た教科用図書を使用する場合は、江東区教育委員会において採択いたしました発行者の教科用図書を使用することとなります。次に「文」と記載してありますものは、文部科学省が著作の名義を有する教科用図書のことでございます。そして「般」と記載してありますものは、学校教育法の附則9条に規定する一般図書のことでございます。特別支援学級で使用する教科用図書は、以上の中から採択することとなっております。

最後に、一般図書の採択基準について説明をいたします。資料3「江東区立学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」をごらんください。一般図書の採択基準は、教科の主たる教材として教育目標の達成上適切な図書であること、現在も入手が可能な図書であること、児童・生徒の障害種別程度、能力・特性に最もふさわしい文字、表現、挿絵、題材等の図書であること、可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に添う内容をもつ図書であること、などを挙げられます。

なお、一般図書は、資料6の東京都教育委員会が調査研究を行い作成した「平成30～31年度使用 特別支援教育教科書 調査研究資料」に掲載されている図書の中から選定を行っております。教科書として採択する一般図書は、各教科の主たる教材として有効かつ適切でなければなりません。資料4、5としてまとめました教科用図書一覧は、十分に調査研究されたものの中から選定されているものであることをつけ加えさせていただきます。

本日は調査部会で各校から報告された一般図書をご用意しましたので、実際にごらんになりながらご審議いただきたいと思います。

それでは、初めに小学校、次に中学校という順で審議をお願いいたします。

岩佐教育長 それでは、本案につきまして、小学校の特別支援学級の教科用図書から審議をお願いします。まず、調査部会ではどのようなことが話題になったのか報告をお願いします。

指導室長。

伊藤指導室長 それでは、調査部会で話題になった小学校の教科用図書にかかわる主な内容について報告をさせていただきます。

教科指導、学校行事や日常生活の指導での活用につきましては、子どもが興味を引くような内容、デザイン、イラストになっており、子どもが進んで読み返したいと思えるような図書であること、文字を読むことが苦手な子どもも理解をすることができるよう、写真やイラストを用いる等、視覚的にわかりやすいこと、内容に系統性があるとともに難易度に適度な幅があり、さまざまな子どもの実態に応じて活用できること、日常生活や学校行事で身につけさせたい内容が掲載されており、ふだんの指導や学校行事等で有効に活用できること、図鑑や地図等につきましては、図や写真等が豊富で実際のもものと結びつけて考えることができること、日本、東京都、江東区がわかりやすく描かれていることや、移動教室で訪れる場所についても説明があること、オリンピック・パラリンピック教育に結びつく内容になっていること等でございます。

また、各学校では、どの教科についても児童一人一人の障害や学習の状況に配慮し、教科用図書を活用しているということでございます。今回作成いたしました資料4「平成31年度 江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」には、これらの話題となったポイントについても考慮された図書が掲載されております。

なお、調査部会で話題になった本につきましては机上にご用意いたしましたので、実物を見ながらご意見をいただければというふうに思います。

岩佐教育長 それでは、小学校の特別支援学級の教科用図書についてご意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

眞貝委員。

眞貝委員 私は、『ゆっくり学ぶ子のための「こくご」③』を見ているんですけども、言葉の学習24ページに、たくさんの言葉を3つのグループに分ける学習があります。ここには平仮名、そして片仮名で、ひこうき、りんご、ゴリラ、タクシーなど18個の言葉が書かれているんですけども、グループ分けとしては平仮名と片仮名に分けてしまいそうなんですけど、よく見ますと、食べ物、乗り物、動物に分けられるようになっています。今まで学んだ片仮名や平仮名の学習を用いてグループを分けるというよりも、適度な難易度が見られます。

また、34ページには、「ことばをていねいにいってみましょう」というものが掲載されておまして、「おはよう」や「いかなかった」などの言葉を丁寧な言い方にする学習があります。簡単な言葉でよく使うものが掲載されていますけれども、生活に必要なとされるものに絞ってあるので、数は多くありませんが、学習しやすくなっています。

言葉を丁寧な言い方にするということは一般的にも非常に大切なことだと思いますし、東京都の資料に示されています簡単な読み書きは可能

であるが、学年相応の検定済教科書や文部科学省著作教科書では学習が困難な段階にある、また、その点でも子どもたちにとって国語の教科用図書として使用するのに適しているのではないかなと思っております。

岩佐教育長 ほかにいかがでしょうか。
松江委員。

松江委員 私は今、生活科の『心をそだてる子ども歳時記12か月』を見ています。この本では1月から12月までのページ分けがされています。70ページからは8月の内容となっており、季節ごとの俳句や季語が紹介されています。このページには、松尾芭蕉が詠んだ「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」が掲載されています。江東区には芭蕉記念館があり、芭蕉が深川の芭蕉庵でたくさんの俳句をつくった場所でもあります。また、こうとう学びスタンダードの国語スタンダードの中にも、「季節を感じ、俳句に親しみます」とあり、全ての児童が俳句づくりをするために活用できる内容であると思うんです。

岩佐教育長 確かに、俳句教育には十分活用できるような内容かなと思います。ほかにいかがですか。
橋本委員。

橋本委員 私は、理科の『ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび』というものを見ています。自然遊びという切り口からですが、身近な自然の中でできるさまざまな活動が数多く掲載されています。この本はオールカラーで写真も多くて、特別支援学級の子どもたちが興味を持って理科の学習を進めることができると思います。

例えば、37ページから43ページの中では、「草や木でつくろう」という内容で、草や木の葉、実を使った工作が紹介されています。図工にもつながる内容ですが、季節ごとに変わる植物の成長等を利用して絵を描くことや作品づくりが紹介されていて、子どもたちが体験を通して楽しく学習できるようになっていて、とてもいい教科書だと思います。

岩佐教育長 ほかにいかがでしょうか。
進藤委員。

進藤委員 先ほど、眞貝委員から『ゆっくり学ぶ子のための「こくご」』についてのご意見がありましたが、私は同じシリーズの『ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」③』を見ています。この本は、1桁の足し算・引き算、数の大小、時計の読み方等について図や文字、記号を用いてわかりやすく示しています。

4ページから11ページは、5つを一まとめとして考え、6から9までの数をわかりやすく捉えられるようにしています。

また、各ページにおいて、丸をつける、数字を書く、色を塗る等、直接書き込めるような掲載となっており、子どもたちにとってもわかりやすい内容があるものと思っております。

岩佐教育長 今、『ゆっくり学ぶ子のための「こくご」』、それから『さんすう』について話題になりましたけれども、この本は教員あるいは保護者向けに、この本の使い方あるいは指導の要点という形でその内容が整理されていて、指導だとか保護者が子どもにかかわるときに大変参考になるものが記述されて、大変よいなと思います。特別支援学級ではよく使用されている教科書ですので、私もとてもいい教科書だなと思いました。

今、委員の先生方から、図書一覧の中から具体的な本を取り上げてご意見をいただきましたけれども、ほかにご意見ございませんでしょうか。

特によろしければ、これまでの皆さんのご意見をまとめますと、子どもたちにとってわかりやすく、興味・関心を高めながら学習に取り組むことができる教科書、一人一人の児童の実態に合わせて活用ができる教科書であることが重要であるというようなご意見をいただいたかなと思います。

それでは、特にご意見がなければ、平成31年度江東区立小学校特別支援学級で使用する教科用図書については、資料4「平成31年度 江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」のとおり採択したいと存じますが、ご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩佐教育長 ご異議ございませんので、「平成31年度 江東区立小学校特別支援学級教科用図書一覧」のとおり採択したいと思います。

それでは、次に中学校特別支援学級の教科書について審議をお願いしたいと思います。初めに、説明をお願いします。

指導室長。

伊藤指導室長 中学校におきましても、特別支援学級の教科書を採択する基準は小学校と同様でございます。各特別支援学級設置校からの調査結果に基づき、調査部会で内容等の精査、検討を行い、一覧にまとめたものが資料5でございます。小学校と同様に、調査部会で話題になった主なことについて報告させていただきます。

教科指導、学校行事や日常生活の指導での活用につきましては、小学校で学習してきたことを踏まえ、さらに知識、技能等が着実に積み重ねられるものであること、絵やイラストが豊富に掲載されているなど、障害のある子どもにとって関心、意欲が高まり、理解促進につながるものであること、個々の子どもの習熟度に応じて活用できること、健康の保

持増進や身体の仕組みについて学習でき、みずからの健康管理について実践できる能力を育てる内容であること、将来、社会の一員として自立した生活ができるよう、キャリア教育の視点から社会生活について学習できる内容が大切であること、図鑑や地図等については、実験や実習等の例が豊富で丁寧に手順を説明してあり、こどもたちが実際に教科書を参考に意欲的に取り組めるような内容になっていること、オリンピック・パラリンピック教育においても活用が図れるものであること。

なお、小学校と同様に、各学校においては、どの教科についても生徒一人一人の障害や学習の状況に配慮し、教科用図書を活用しているということでありました。

また、資料5「平成31年度 江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」には、これらの話題となったポイントについても考慮された図書が掲載されております。

なお、机上に一般図書をご用意いたしましたので、実物をごらんいただきながらご意見をいただければと思います。よろしく願いいたします。

岩佐教育長 それでは、中学校の特別支援学級教科用図書につきましてご意見をいただきたいと思っております。いかがでしょうか。

橋本委員。

橋本委員 私は、『くらしに役立つ国語』という本を見ています。生徒たちが生活していく上で必要な知識や技能、マナーについていろいろ書いてあるんですけども、特に自己紹介、手紙の書き方、電話やメールの利用とかマナー、電気料金の支払い方法とか、その調べ学習など全ての内容が生活に密着していて、とてもいい教科書になっていると思います。

18ページから「遠足の計画を立てよう」ということが書いてあるんですけども、学校の遠足や移動教室の事前学習に役立つ内容となっています。見学に行く施設などの「ガイドマップ」の作り方も記載されていて、卒業後の実生活でも非常に役立つと思います。

また、先ほど松江先生からも出ましたけれども、70ページから俳句をつくらうということがここにも載っておりまして、本区の特徴である俳句教育を進める上で活用できます。特に72ページの、学校行事で体験したこと感じたことなどを俳句で表現するにはどうしたらいいですよという事例なども載っており、俳句に取り組む際の参考になると思います。

以上のことから、国語の教科書としてはかなりいい形で適応しているのではないかなと思います。

あと、もう一ついいですか。

岩佐教育長 はい。

橋本委員 もう一つは『うつくしい絵』という本を取り上げたいと思います。この本は名画がカラーで大きく記載されており、子どもたちがとても見やすい形で作成されております。

また、作者の成り立ちや作品の作者の思いがルビつきの文章で説明されており、絵を見るポイントとして、美しい絵とはどういうものなのか、心を打つということはどういうものなのかということがとてもわかりやすく書いてあります。

特に、「モナ・リザ」を紹介しているページでは、作者であるダ・ヴィンチが絵を描いたのはもちろんのことですけれども、すばらしい機械や道具をいろいろ考えた科学者であったことも紹介しています。

表に見えている姿や形だけではなく、隠れた仕組みや細かいところなどを知った上で絵を描くことが文章化されており、子どもたちの興味をかき立てることが確実であるかなと思います。

特別支援学級の子どもたちの作品展を何度か見せていただいたことがあるんですが、絵画や工作などとても緻密に描かれていて、上手な絵がすごく多いなと思っております。子どもたちが我が国や外国の名画に触れることによって、情操教育の面からもとてもよいことだと思っておりますし、自分たちの制作にとってもいい影響が出るのではないかなと思います。私はこれを推薦できる教科書かなと思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがですか。
進藤委員。

進藤委員 私は、『小学理科か・ん・ぺ・き新しい教養のための理科 基礎編』を取り上げたいと思います。昆虫や動物、植物、気象や星空の観察、身の回りの科学について、オールカラーで写真やイラスト、表やグラフ等も多く、大変詳しく解説しております。今年の夏はとても暑い日が続いておりますが、86ページに夏の天気について載っております。夏の一般的な天気図や台風が日本に接近している日の天気図が掲載されており、この時期特有の夕立について詳しい説明も記載されております。

また、41ページから始まる「イネを育ててみよう！」では、理学的な内容ではなく、イネの種子であるコメに含まれている栄養素などが詳しく書かれていますので、食材への関心も高まり、栄養バランスがとれた食生活にもつながるのではないかなと思います。

生徒の興味・関心に応じて、多様な学習に取り組み、自由研究にも活用できると思います。理科の教科用図書として適していると私は考えております。

岩佐教育長 ほかにはいかがでしょうか。
松江委員。

松江委員 私は、『いちばんわかりやすい 小学生のための学習世界地図帳』を見ています。内容は、世界を7つの地域に分け、それぞれの地域ごとに3つのテーマで説明されていますので、生徒たちは興味関心を持って学習できるのではないかと思います。

例えば、食事や住まいについて、絵や写真で解説されています。今6ページを見ていますけれども、インドのカレーと日本のカレーの違いや、アルゼンチンでは牛肉を食べる量が日本の約6倍であるなど示されており、生徒たちの興味のある内容が豊富に出ているので、世界が身近に感じられてよいのではないかと思います。

また、これは昨年度も話題になりましたが、巻頭に世界の国旗が示されていますし、巻末には国旗と地図が両面に印刷された「世界の国かるた」がついていますので、オリンピック・パラリンピック教育の「世界ともだちプロジェクト」の学習にも役立ちますし、本区独自で進めている「世界の国旗・国歌を学ぼう」という学習にも役立つのではないかと思います。

岩佐教育長 そうですね。今まで子どもたちが学んでいる国旗・国歌の学習とリンクするので、とてもいいなと思います。

ほかにいかがですか。

眞貝委員。

眞貝委員 私は、『NEW ABC OF ENGLISH 会話編』を見ていますけれども、昨年度は同じ本の『単語編』について話題となりましたが、オリンピック・パラリンピックもありますし、特別支援学級の子どもたちに楽しみながら英語を身につけてもらいたいと思っております。

『単語編』で身につけた英単語などを使って、『会話編』を活用し楽しみながら英会話をすることができると思いますし、この本は生徒たちの学校生活や身の回りで起きる出来事や会話などをイラストを使って示してありますし、ジェスチャーもイラストに示されていますので、生徒たちが実際に英会話をする際の参考になると思います。

英語スタンダードにあります「英語であいさつや自己紹介ができる」、また「英語で積極的にコミュニケーションをとります」などの学習に有効でありますし、この図書は英語の教科用図書に適していると思います。

岩佐教育長 ありがとうございます。ほかにご意見ございませんでしょうか。

特になければ、中学校の教科書につきましても、各学校で一人一人の生徒の実態を十分配慮した上で適切に教科書を使用することが重要であ

ると思います。一覧の表を見ますと、各学校の先生方が検定を経た教科用図書、あるいは文部科学省が著作を有する教科用図書、それから子どもたちの実態に合った一般図書、こういったものを子どもたちの実態に合わせて授業で効果的に活用していこうという気持ちがよくわかります。これらの図書を十分に活用してもらって、ぜひ、子どもたちがそれぞれの指導で十分に力を発揮することができるよう学校において育ててほしいなと思っています。

それでは、特にご意見がなければ、平成31年度江東区立中学校特別支援学級で使用する教科用図書について、資料5「平成31年度 江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」のとおり採択したいと存じますが、ご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

岩 佐 教 育 長 ご異議ございませんので、「平成31年度 江東区立中学校特別支援学級教科用図書一覧」のとおり採択いたしたいと思います。

以上をもちまして、平成31年度江東区立学校特別支援学級教科用図書採択についての審議を終わります。

それでは、以上をもちまして、平成30年第4回江東区教育委員会臨時会を閉会といたします。どうもお疲れさまでした。